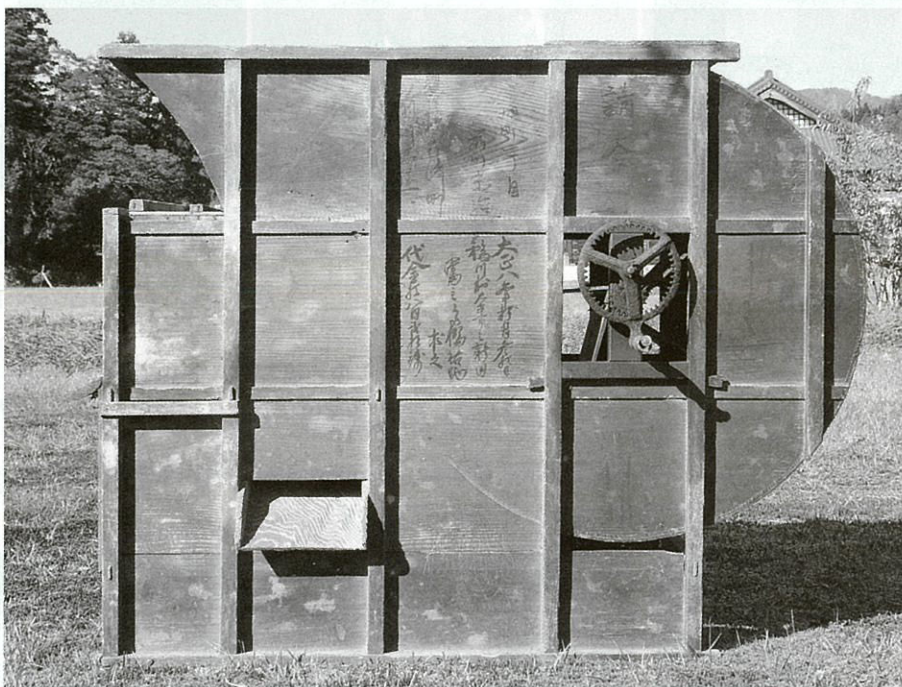


柏崎市立博物館友の会 ◆ 〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35赤坂山公園内・TEL 0257-22-0567

## このお宝どこに…？



前川末造の作った唐箕(その1)

唐箕は、米などの穀物を精選する時に使用される大型の農具です。ハンドルを回すことによって内部で風を起こすことができ、その風力を利用して脱穀した穀物を実と殻、屑などに選り分けます。ハンドルを回すだけで風を起こせるため、箕をゆすって行う選別に比べて、熟練を要せずとも取り扱いやすく、はるかに能率良く作業できることから広く普及しました。柏崎・刈羽地域の農村部においても、唐箕は見慣れた農具の一つといえるでしょう。

ところが、どのような唐箕が柏崎・刈羽地域で使われてきたのか、具体的な様相になると詳しいことはわかっていません。見慣れた農具だったこともあって、おそらく唐箕に関心が寄せられる機会が少なかったからだと思います。

そこで、柏崎・刈羽地域の唐箕について調べてみたところ、新道と市野新田で興味深い唐箕が見つかりました。この2点の唐箕には墨書の文字情報があり、そこに唐箕を製作した職人の名前が書かれていたのです。2点の墨書に共通して書かれている職人の名前は「旭町1丁目 前川末造」。旭町とは柏崎の旧町名で、この墨書によって柏崎で唐箕が製作されていたことが明らかになりました。

写真の唐箕は市野新田で見つかったもので、現在は柏崎市立博物館の収蔵資料です。大正8年(1919)に購入されたもので、前川末造が大正時代の中頃すでに唐箕を製作していたことがわかります。注目したいのは、この形態。柏崎の前川末造が製作した唐箕は、柏崎・刈羽地域にどのような形態をした唐箕が伝わってきたのかを知る手がかりとなるからです。

(学芸員 池田 孝博)

## 柏崎の神社を知る講演会

令和元年11月2日(土) 参加者24名

神社庁柏崎支部長 栗田明廣氏より柏崎刈羽の神社と神楽舞について講演をしていただきました。新潟県は、神社の数が全国で一番多く、柏崎刈羽の神社数は261社あるとのことで、身近な地域に神社がたくさんあることに驚きました。柏崎刈羽にある神社の名前の意味や御祭神について詳しく教えてもらい、神楽舞では写真を見せてもらいながら舞に出てくる神様について知りました。なにも知らなかった私でもとても分かりやすい講演で、当たり前のように行っていた神社がまた違った観点から見るができるようになりました。



## 勾玉づくり教室

令和元年11月10日(日) 参加者12名

伊藤啓雄学芸員から勾玉について学習した後、滑石という少し柔らかい石を使用してキリで孔を開け、糸ノコギリ・紙ヤスリ・布を使って形を整えました。絵具で着色して、孔にヒモを通して世界に一つだけの首飾りを完成することができました。

本来、勾玉はヒスイなど硬い石で作られていますが、キリやノコギリのない時代は根気よく石で孔を開け、砥石で形を整えたことに感動しながら作業をおこないました。



## 八丁紙(袴紙)づくり教室

令和元年12月12日(木)~12月13日(金) 参加者5名

12月12日、13日の午前9時~午後5時までの間に自由に博物館に来ていただく形態で、お正月飾りの八丁紙づくりを行いました。型紙の絵柄がたくさんあったので、みなさん迷いながらも楽しんで選んでいました。細やかな作業でしたが、受講者のみなさん、集中して素敵な八丁紙を仕上げていました。中には2日続けて来る会員や非会員の方の参加もあり、とても有意義な教室でした。



## 和菓子づくり教室

令和2年1月25日(土) 参加者8名

最上屋の菓子職人金子豊氏を講師に迎え、昨年度も大好評だった和菓子づくりを学びました。金子講師の職人技に、お店に売っている和菓子がこうやって作られるのかと驚きと感動に包まれました。今回は全部で6種類(寒椿、冬牡丹、小梅、着せ綿、千両、好きな種類)の和菓子を作りました。最初は、「見るのとやるのでは全然違う!」と、右往左往していましたが、金子講師に手厚くご指導いただきながら、世界一の和菓子を作りました。最後は好きな種類の和菓子を自分だけで作るという難関でしたが、難しいといいながらも参加者のみなさん、にこやかな表情で楽しんでおられました。また「同じものを何百個と作れるのが職人なのだよ」という金子講師の言葉に、職人のすごさを感じると同時に地元こんな素晴らしい技術を持っている方がいるのかと改めて幸せを感じた教室でした。



## うどん打ち教室

令和2年2月16日(日) 参加者8名

うどん打ち同好会の田村光一氏と戸田忠明氏を講師に迎え、塩水を小麦粉に加え指を開いて混ぜる水回し作業から生地をたたんで切る作業など、全部で9工程をじっくり丁寧に教わりながらうどん打ちを学びました。

参加者のみなさんはどの作業も楽しんで進めていましたが、私が一番難しいと思ったのは、切る作業です。講師の田村氏と戸田氏にお手本を見せてもらいましたが、やはり見るのとやるのでは全く違い、切っていくうちに麺が太くなりました。しかし、ゆでて食べてみるとこしがあってびっくりするほど美味しかったです。教室で作ったうどんはざるうどんに、講師の田村氏が打ってくださった熟成させたうどんを釜玉うどんにして食べ比べをしました。手打ちの美味しさに魅了された一日でした。



## 友の会行事案内

## 海浜の植物観察会

昨年は雨天のため海浜植物の観察時間が短くなりました。今年をもっと深く海浜植物を観察します。今年も雨天であれば博物館で学習します。

日時 4月29日(水・祝) 9:00~12:00

会場 みなとまち海浜公園周辺の海辺

集合場所 みなとまち海浜公園駐車場

定員 20名(先着順)

参加費 会員無料、非会員500円

申込方法 電話で友の会事務局へ ☎ 22-0567

4月

## 椎谷観音御開帳と椎谷地区の文化財めぐり

椎谷観音御開帳(35年ぶり)を見学後、椎谷地区の文化財を当館学芸員がご案内します。

このチャンスをご利用ください。

日時 5月31日(日) 9:30~12:30

会場 椎谷観音堂ほか椎谷地内

集合場所 椎谷観音堂の駐車場or博物館

定員 配車の都合により決定

参加費 500円(拝観料)

申込方法 電話で友の会事務局へ ☎ 22-0567

5月

## 長野県の旅 ～自然と文化を楽しむ旅～

長野県北部の自然と文化を楽しむ旅に参加しませんか。戸隠神社の参拝は祈禱を含め、普段目にする事ができない場所も案内してもらいます。参道での森林浴や戸隠そばも堪能ください。野尻湖ナウマンゾウ博物館では、約9万年の昔から現在に至るまでの野尻湖発掘の成果を解説付きで見学できます。その後は、野尻湖をゆったりクルーズします。道の駅しなの「ふるさと展望館」は、新鮮な高原野菜や地場産加工品が充実しています。最後に日本の滝100選のひとつ苗名滝を見学します。



行程 / 6月21日(日) 7:30発 ~ 18:30着 ※道路状況により変更もあり

6/21 (日)	柏崎 == 米山IC == 《高速》 == 信濃町IC == 戸隠神社・九頭龍社・中社(参拝・祈禱) 7:30 9:30-11:30
	== 戸隠そば(昼食) == 野尻湖ナウマンゾウ博物館 == 野尻湖遊覧船 & 自由散策 == 11:40-12:40 13:10-13:50 14:00-15:00
	道の駅しなの == 苗名滝 == 妙高高原IC == 《高速》 == 米山IC == 柏崎 15:20-15:50 16:10-17:00 18:30

集合場所 / 柏崎市文化会館 アルフォーレ  
正面玄関前(解散も同じ)

集合時間 / 午前7時20分(時間厳守)

募集定員 / 45名(定員を超えた場合は、抽選になります)

参加費 / 友の会会員 1人 10,000円

非会員 1人 12,000円

交通費、見学料金、旅行傷害保険料など

申込み / ㈱近畿日本ツーリスト関東 長岡支店に、ハガキまたはFAXでお申込みください。

「長野県の旅」でお申込みください。

住所・名前・年齢・電話番号・友の会会員か非会員をご記入ください。

〒940-0033 長岡市今朝白1-8-18 長岡DNビル 11階

㈱近畿日本ツーリスト関東 長岡支店 FAX 0258-34-5402 担当: 村田・安中

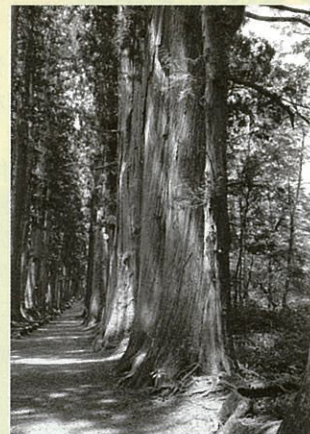
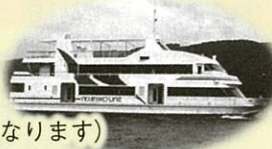
※ 申込み締切日は5月31日(日)

備考 / 参加費の入金には、銀行によっては振込手数料がかかる場合があります。

参加される方につきましては、研修会資料に名簿を掲載しますので、個人情報の取り扱いについて同意いただきたいと存じます。

ご質問などは博物館友の会事務局 (☎0257-22-0567、箕輪・林) または

㈱近畿日本ツーリスト関東 長岡支店 (☎0258-34-1112、村田・安中) にご連絡ください。



## 編集後記

友の会通信178号をお届けします。新型コロナウイルスが猛威をふるい、新潟県でも新型コロナウイルス感染症患者がでてしまいました。柏崎市においても沢山のイベントが中止となり、友の会通信でご案内しました「きのこの四季を見る・食う会」も中止となりました。

今回ご案内しました友の会行事の頃には、この新型コロナウイルス感染症も治まっているのではないかと思います。皆様も手洗い、うがいなどをして新型コロナウイルス感染症にかからないよう健康に留意ください。そして、友の会行事のときには元気なお姿でお会いしましょう。

(友の会事務局)